

# 畜産

▶キャリア

## 新人<sup>U</sup> 新採用

1年目

### 若手 技師級

2~10年目程度  
(20~30代前半)

### 中堅 主任級

(主任農業普及員 等)  
10~15年目程度  
(30代中盤~)

### サブリーダー 主査級

(主査農業普及員 等)  
15~20年目程度  
(30代後半~)

### グループリーダー 主任主査級

(上席農業普及員 等)  
20~25年目程度  
(40代中盤~)

管理監督者<sup>▲</sup>  
担当課長~  
25年目以降  
(40代後半~)

主な職名：農業普及員、専門研究員、講師 等

主な配置先：農林水産部畜産課、広域振興局農政部・農林部（各振興センター）、農業改良普及センター、畜産研究所、農業大学校 等

▶必要な知識・能力・役割  
県職員としての土台づくり。  
知識経験をしっかり吸収。

様々な分野を経験。実務  
の中核として活躍。

視野を広げながら担当業務  
を推進。後輩もフォロー。

幅広い視野で業務を推進。  
チームの要として活躍。

チームを引っ張り、県  
の政策・施策を立案。

豊富な知識・経験で  
組織をマネジメント。

- 畜産関係法令の基礎知識
- 家畜の飼料・飼養管理等技術の基礎知識
- 許認可、補助事業、技術指導、試験研究業務等の基本的な遂行力
- 関係機関、生産者等とのコミュニケーション力
- 会議、説明会等資料の作成・プレゼン力

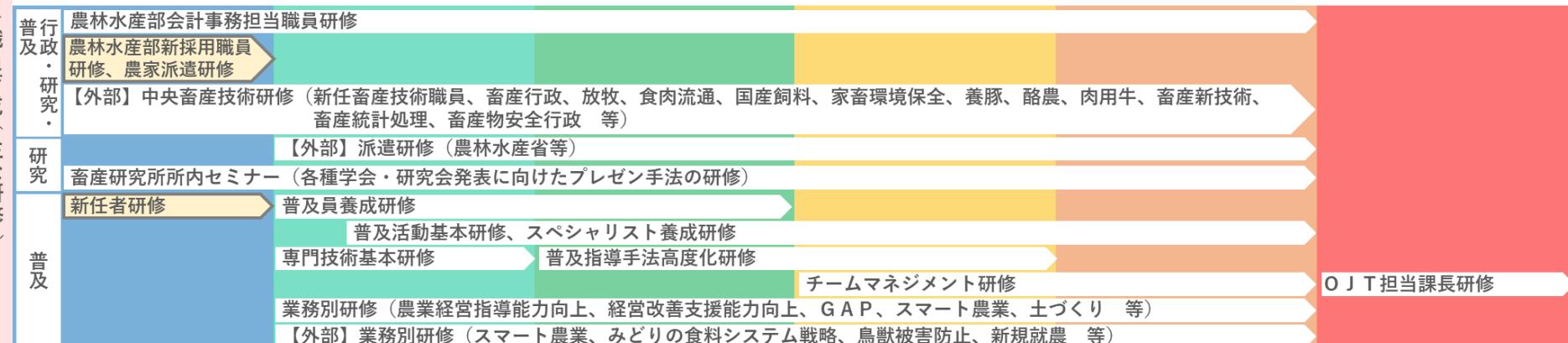
- 畜産関係法令の専門知識
- 家畜の飼料・飼養管理等技術の専門知識
- 畜産関係法令、畜産技術に関する関係者への指導力
- 許認可、補助事業、技術指導、試験研究業務等の能動的な遂行力
- 畜産関係施策の立案・遂行力
- 関係機関、生産者等との折衝・交渉力
- 家畜伝染病など緊急案件への基本的な対応力
- 技師級職員への指導・助言力

- 担当ライン業務の進行管理・調整力
- 家畜伝染病など緊急案件への能動的な対応力
- 主任・主査級職員への指導・助言力

- 管理監督職として所属職員や事務事業をマネジメントする能力
- これまでに培ってきた専門分野の知識・経験等を踏まえた高度な能力（説明・交渉・調整力、判断力、指導力、分析力）の発揮
- 人材育成能力

#### ！ 若手職員の配置

必要な技術・知識の習得と適性把握のため、複数の職場（行政、研究、普及）を経験できるよう配置。本人の意向や業務遂行能力、適性等を考慮し、配置を決定。



！ 育成方針：職場を離れて受講する研修（off-JT）に加え、日常の仕事を通じた上司・先輩からの指導（OJT）や自主的な学習・研鑽（自己啓発）を組み合わせて育成

注1：各職位の目安（〇年目）は大卒程度を想定したものです。 注2：研修のうち太い枠線のあるもの（着色されているもの）は必修研修であることを表しています。